

資料1: ベクトルタイル「地形分類」の概要と表示例

- ▶ ベクトルタイル「地形分類」は、地理院地図上で表示することができます。
- ▶ 全国の大分類地形を網羅した『広域版』及び全国の中分類地形を網羅した『地域版』は、今回初めての公開となります。
- ▶ 更に細かい地形分類が表示される『詳細版』は、主要な平野部についてこれまでも公開していましたが、今回は整備範囲を一部拡大しました。今後も順次整備を進めます。
- ▶ 色分けで分類されている地形をクリックすると、その地形の成り立ちと災害リスクがポップアップで表示されます(全ての縮尺で対応)。
- ▶ 公的機関による防災対策、開発計画などへの利用、個人の防災意識の向上に資するほか、学校における防災教育での活用にも期待されます。

ベクトルタイル「地形分類」の概要

区分	地図の縮尺の目安	表示される地形種	整備範囲
『広域版』	1/500万~1/100万	(大分類) 山地・丘陵、火山地形、台地・段丘、低地ほか	全国 (今回新たに整備)
『地域版』	1/100万~1/5万	(中分類) 山地、火山地形(明瞭・やや不明瞭)、丘陵・小起伏地、台地・段丘、低地ほか	全国 (今回新たに整備)
『詳細版』	1/5万~1/2.5万	(小分類) 山地、山麓堆積地形、扇状地、台地・段丘、自然堤防、氾濫平野、旧河道ほか	主要な平野部 (今回一部拡大)



『広域版』の表示例

『地域版』の表示例

『詳細版』の表示例